

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	アナライズ3
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	自分で制作した楽曲を保存しておけるようなUSBまたはハードディスク				
担当教員情報					
担当教員	川島基宏/原田博之		実務経験の有無・職種	有・トラックメーカー・作編曲	
学習目的					
楽曲また作曲家等分析することにより、自分がどのような作品を制作するのかを改めて認識し、卒業後の作家としての活動に生かしていくことを目的とする。 後期は「協働制作」をテーマにし、昨今のクリエイターとして必要不可欠なコンテンツを含めた制作を進め音楽だけではなく幅広いクリエイターを目指す。					
到達目標					
分析を基にコンテンツ制作も視野に入れたクリエイターを目標とする。 他人とのコ・ライティング、共同作業によってコミュニケーション能力を高めていく事、そしてそれらにより作品のクオリティを上げていくことを目標とする。 合同卒業展への作品展示・Real Dreamsでの披露等幅広く活用できる作品を制作する。					
教育方法等					
授業概要	前期は主に分析を主とした講義を展開する。音楽の分析はもとより後期に向けてのグルーピングのための各個人の人間分析も行う。 各個人の音楽に対する分析を基に分析課題を行い発表し、方向性の近い学生とチームを作り、後期はチームごとで制作に入っていく。 最終授業内でプレゼン発表会を行う。				
注意点	前期の分析発表会では他人の発表もこまめにノートに記録する。分析結果をもとにグルーピング基準を検討し制作すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する。		
	小テスト	0%			
	レポート	30%	課題発表のレポート内容を評価する。		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	発表会での内容を評価する。		
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		授業内容の概要・スケジュール等告知		
2回	アナライズとは		アナライズの内容を理解する		
3回	第一課題「分析するということは？」①		分析することは？というテーマの告示 全ての事象に関しての分析を各自説明できるように考察する		
4回	第一課題「分析するということは？」②		各自考察した「分析することは」という課題をプレゼンテーションする		
5回	第二課題「音楽における分析とは？」①		音楽を分析することはどのポイント分析するかの考察・討論を行いプレゼンの基盤を作る		
6回	第二課題「音楽における分析とは？」②		各自考察した「音楽における分析」という課題をプレゼンテーションする		
7回	第三課題「好きな音楽を分析する」①		自分の好きな音楽を特定しその内容を理解する 楽曲分析の考察を行う		
8回	第三課題「好きな音楽を分析する」②		各自考察した「自分の好きな音楽を分析する」という課題をプレゼンテーションする		
9回	第四課題「自分の人生の分析」①		自分の振り返りシートを作成し自分の人生の分析を考察する		
10回	第四課題「自分の人生の分析」②		各自考察した「自分の人生を分析する」という課題をプレゼンテーションする		
11回	グルーピングセッション①		グループ組のプレゼンテーション 第一～第四課題を考慮しグルーピングを確定させる		
12回	グルーピングセッション②		制作内容のミーティングを行い楽曲の方向性を確定させる		
13回	グルーピングセッション③		コンテンツ内容のミーティングを行い制作のソースを確定させる		
14回	グルーピングセッション④		スケジューリング、レコーディング、作業工程表等制作進行の予定を組む		
15回	前期まとめ		各グループ制作内容発表プレゼンテーション		